

LESSON TRANSCRIPT

# Video Culture Class: Japanese Holidays #16 Respect for the Aged Day

---

# 16

孫から祖父母へ、または子どもから両親へ、あるいは地域で、お年寄りに「いつもありがとう。これからも元気で過ごしてね」という気持ちを伝えるのが「敬老の日」です。「長年にわたり社会に尽（つ）くしてきた老人を敬愛（けいあい）し、長寿を祝う」という趣旨のもと、毎年9月の第3月曜日が祝日になります。その発祥（はっしょう）には諸説（しょせつ）ありますが、1947年、兵庫県の農村で敬老会を開いたことから、全国に広まったそうです。

今では9月第3月曜日が敬老の日ですが、2002年までは、別の日に決められていました。いつだったか知っていますか。

正解はこのビデオの最後に紹介します。

敬老の日当日やその前後に、お年寄りの住んでいる地域で「敬老会」が開かれることがあります。高齢者に、公民館のような公共の施設に集まってもらい、合唱サークルによる歌の披露、ダンス同好会による演舞（えんぶ）など、参加者と地域住民と一緒に楽しめるような余興（よきょう）が催（もよお）されます。また、赤飯や和菓子、拡大鏡（かくだいきょう）といった記念品が贈呈（ぞうてい）されることもあります。幼稚園や保育園では、児童の祖父母を招いて参観会を開いたり、小学校では感謝の手紙を書いて祖父母に渡したりするなど、異年齢の交流を深める機会にもなっています。

厚生労働省は、毎年「敬老の日」を前に、100歳以上の高齢者の人数を調べます。また、自治体では、「傘寿（さんじゅ）」（満80歳）「卒寿（そつじゅ）」（満90歳）など、節目の年を迎えられた高齢者には、お祝い金や記念品[を]贈るところもあります。さらに、100歳を越える長寿の方には、市長や町長が直接、住まいを訪問してお祝いのごちそうをかけたたり、祝いの品を贈呈したりします。

高齢者と同居している家庭はもちろん、離れて暮らす家族も、敬老の日には感謝の気持ちを伝えます。「ありがとう」ということばだけでなく、贈り物をするのも多々あります。贈って喜ばれた敬老のプレゼントとしては、食事会や花などのほか、孫からの手作りの品や孫の写真などが上位に上がるようです。

敬老の日を9月の第3月曜日に移行させる際、高齢者団体から反発が相次いだため、2001年には老人福祉法が改正され、9月15日が「老人の日」、9月15日から1週間が「老人週間」と制定されました。

さて、ここでクイズの答えです。

2002年まで、敬老の日はいつだったのでしょうか。正解は9月15日です。国民の祝日の一部を、従来の日付から特定の月曜日に移動させる制度を「ハッピーマンデー制度」と呼びます。公務員や中規模以上の企業を中心に、週休二日制が広まったため、月曜日を休日とすることで土曜日・日曜日と合わせて三連休にし、余暇（よか）を過ごしてもらおうという趣旨で法改正が行なわれました。1998年には「成人の日」「体育の日」、2001年には「海の日」「敬老の日」の移動が決定されました。

いかがでしたか？

はじめて知ったことはありましたか。

皆さんの国にも、お年寄りを敬い（うやまい）、感謝の気持ちを表す日はありますか。是非、JapanesePod101.comのコメント欄で教えてくださいね。

それでは、また！